

## 新人教育を展開するにあたって

ベーシック・マネジメント研究所 高原昭男

企業の人材育成の中でも新人教育は大変重要な位置づけにあると言えよう。まだ、学生気分です入社してくる者に対して、社会人の心構えや仕事への姿勢を徹底して身に付けさせる機能が求められる段階である。このような新人に対する教育であるが、最初の段階の導入教育はほとんどの企業で取り組んでいるが、配属後の教育は不十分である場合も見かけられる。しかし、導入教育も大切だが、配属後のOJT(On the Job Training)の教育がより重要になる。

そこで、本稿では現場でのOJTを中心とした新人教育の抑えどころを解説することにしよう。また、この章では指導教育の意義と概要を解説しよう。

### ●新人の時に教わったことが一生影響する

新人の時に初めて教わることは、その対象者の人生を左右するほどの影響がある。最初に受けた教育は一生忘れないものであり、そのため教育の実践は大変重要なものである。

社会人として身に付けるべき基本行動を、確実に身に付けることにより、その新人は、人としての信頼度は格段に高まるだろう。反対に、社会人の基本行動を習得できないまま時間が過ぎると、ベテランになっても基本行動が身に付かない。そのような状況では対人関係において信頼関係の構築が難しいことになるだろう。

まずは、新人の時に社会人としての基本行動、ビジネスマナー、生産活動に必要な安全や品質の基礎知識を習得させることが必要なのである。

### ●新人OJTを展開する留意点

前述したように新人への指導の基本はOJTである。OJTを展開する指導には次のような要素を加味して取り組むことが求められよう。

具体的な要素としては、「新人の特徴をつかむ」「新人へのほめ方・注意の仕方」「指導担当の設定」「OJTや教え方の方法」「コーチングの方法」「メモの仕方や教訓のつかませ方」などである。

新人の特徴をつかむことは、今後の指導育成に大きく影響してくるものだ。特に、若者の仕事への姿勢や学習する姿勢は留意する点であろう。

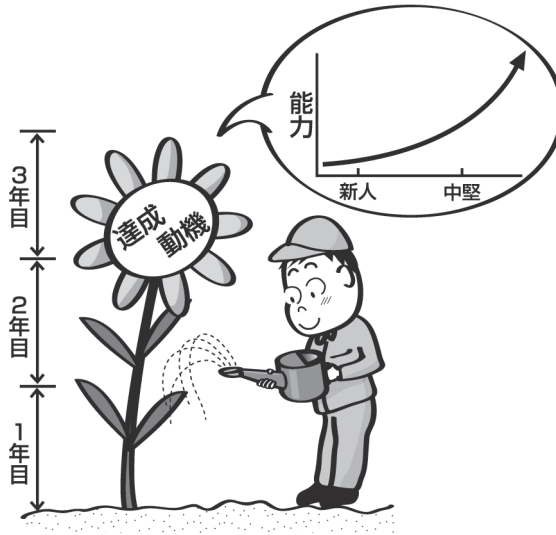
新人へのほめ方・注意の仕方は難しい点も多い。前向きな姿勢を引き出すことや間違った行動を修正することを効果的に展開するためのほめ方・注意の仕方が重要になる。

指導担当を誰にするかも、新人の成長に大きく影響を及ぼすことになる。また、指導担当が複数必要な場合には、その指導のバラツキが問題になるのである。

OJTを展開するための教え方をしっかり習得することが必要である。特に、教え方の5段階を習得し、指導の場面で活用してほしい。また、OJTの展開では新人にメモを取らせる取組みも効果的である。

コーチングを取り入れることも大切だ。新人への教育の多くはティーチングのアプローチであろう。しかし、新人に指導する場合にコーチングのアプローチも必要な場面もある。コーチングを取り入れ、新人に考えさせることが大切になるのである。

メモの仕方や教訓のつかませ方を指導すること



が指導要素として指摘できよう。特に、最近の若者はメモを取らない者が多いように感じる。メモを取ることは学習する姿勢としての基本動作でもある。さらに、メモを取るなどから教訓を学ぶことを習得させることが必要なのである。

### ●達成動機を高めるように指導する

達成動機とは「困難な物事を迅速かつ立派にやりとげるために努力しようとする動機」(大辞林)である。この達成動機とは若いころに高めることが重要だ。新入社員の場合は3年以内が達成動機を高めるポイントと言えよう。3年以内に高めることでその後の企業人としての行動がかなり変わってくると言って過言ではないだろう。

達成動機を高めさせるためには、目標を自分で設定させて取り組ませることが効果的である。自分の意思で目標を設定させることが重要だ。新人が一人では設定できない場合もある。その時には指導担当が相談に乗ることが必要だ。しかし、基本的には自分の意思で設定することが必要である。

自分でやりたいことは何か、この何かを見つけることが大切なのである。自分自身で目標を設定する姿勢を向上させることが重要になる。

そして、設定した目標を自分の努力で達成することが求められる。自分の力で達成することにより、達成感を味あわせることが最も大切なことな

る。この達成感を感じることで、より達成動機を高めることになるのである。さらに重要なことは、できるだけ若い時にこの達成動機を高めることが必要である。そのためには新人の時にこのようなアプローチをすることが効果的なのである。

ある企業では新入社員に対して、1年間の改善の目標を設定して、目標達成への取り組みを実施している。この目標を有効に実現するためにOJTの取り組みを活用しているのである。新人のレベルアップはもちろんだが、新人を指導する中堅社員の能力向上に大いに成果を生み出している。



たかはら あきお  
代表取締役  
URL <http://basicm.jp>